

これまでに当院で全身麻酔を受けた患者さんへ
【過去の電子カルテ・全身麻酔記録の調査研究への使用のお願い】

京都医療センター麻酔科では、『周術期胸骨圧迫症例の神経学的予後予測因子の検討』という臨床研究を行っております。

近年、市民講座や免許取得時の講習などでの一時救命処置（BLS: Basic Life Support）講習や自動体外式除細動器（AED : Automated External Defibrillator）の普及、救急搬送システムの改善、病院到着後の初期加療と集中治療の向上などの複合的な効果により、院外心停止後の生存率と社会復帰率が上昇してきております。

しかし、全身麻酔中に何らかの原因で心停止を生じ、適切な初期加療を受けた患者さんの生存率に関しては、まだ明らかになっていない部分も多くのごっております。

この研究は全身麻酔下で胸骨圧迫を受けた患者さんの術後経過をたどることにより、経過に影響を与える因子を同定することを目的としております。そのため、過去に当院手術室で全身麻酔を受けた患者さんのカルテなどの治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

この臨床研究は、京都医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

対象調査期間:2010年4月1日から2015年12月31日まで

今回の臨床研究では、上記期間内に当院の中央手術室で全身麻酔を受けた患者さんの麻酔記録、電子カルテ記録を使用させていただきます。

過去の記録を使用して行う臨床研究であり、新たな検査・費用が生じることはありません。また、記録を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

記録の使用により、患者さん個人が特定されることのないよう、匿名化を行います。その他の個人情報に関しては、厳重に管理します。研究の結果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は京都医療センターに帰属し、患者さんには帰属されません。

この臨床研究に、利益相反はありません。

今回の研究内容につきまして、参加を希望されない場合やご質問がある場合は下記までご連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

研究責任者

京都医療センター 麻酔科 部長 七野 力

TEL 075-641-9161